

通学距離と通学時間検討資料

小学校では徒歩や自転車による通学距離として4km以内、通学時間としてはおおむね1時間以内を目安としている ※文部科学省

<通学距離と通学時間>

文部科学省 小・中学校の適正配置に関する主な意見等の整理

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1286942.htm

①小学校5年生と中学校2年生を対象に、通学距離とストレスとの関係を調べた研究(第2回作業部会朝倉東京学芸大学教授発表)によると、小学校で4km以内、中学校で6km以内という通学距離は、気象等に関する考慮要素が比較的少ない場合、その距離の範囲内であれば距離によりストレスが大幅に増加するということは認められなかったことから、児童生徒の心身に与える影響という観点からは、現在においても、その負担が明らかに大きいとまでは言えないのではないかと。

②通学については、距離だけではなく、安全、地理的な事情や降雪等の気候などの観点からも考慮することが必要である。

③通学については、昭和31年当時に比べ、交通機関の発達等により、生活圏が拡大していることなども含めて考えなければならない。昭和31年当時、統合に伴うスクールバス導入の事例は多くなかったが、現在では約6割の市町村においてスクールバスが導入されている。

④バス、電車等を使うことにより、通学距離が4km、6kmを超えても通学できる場合がある。一方で、交通事情は地域により様々であり、距離への換算も難しいことから、従来の距離による考え方をそのまま適用するだけでは実態に合わない場合があるのではないかと。

⑤市町村の実態に応じて、通学距離の観点からだけでなく、交通手段等を考慮した上での通学時間の観点からも考えられるのではないかと。その際、例えばバスの場合には概ね1時間程度を上限とし、徒歩の場合には概ね30分から1時間程度を上限とすることなども考えられる。

⑥今後の学校の適正配置を考えるに当たり、通学に関しては、従来の4km、6kmという距離による考え方を踏まえつつ、各市町村において、子どもの発達段階、通学の安全確保、交通手段等を総合的に勘案して、各地域の事情を踏まえて市町村において適切な在り方を検討すべきである。

● 現在、町内の5小学校において登校距離が最長である児童(部団)を対象とし、登校に係る時間および児童の様子等について上記の意見も考慮しながら調査・研究を実施

通学路実態調査研究資料

調査結果

項目	石橋団地	備考
調査日	令和7年11月25日(火)	
天候・気温	雨 気温10度	
登校距離	約2.1km	
出発時間	7時20分	約32分
到着時間	7時52分	
休憩時間	30秒×2回	
児童数	9人(当日は6人) 2年(1人) 3年(1人) 4年(1人) 5年(1人) 6年(2人)	男子(3人) 女子(3人)

項目	黒田	備考
調査日	令和7年12月2日(火)	
天候・気温	晴れ 気温7度	
登校距離	約2.0km	
出発時間	7時22分	約32分
到着時間	7時53分	
休憩時間	30秒×2回	
児童数	17人(当日は15人) 1年(2人) 2年(4人) 3年(1人) 4年(3人) 5年(1人) 6年(4人)	男子(10人) 女子(5人)

通学距離の設定について

田原本町の実情、社会環境、小・中学校の適正配置に関する主な意見等を踏まえ多様な視点で協議した結果が次の通りである。

論点	結論
①小学校では徒歩や自転車による通学距離として4km以内、通学時間としてはおおむね1時間以内を目安としているについて	現在の社会環境を考慮するとおおむね4キロを歩いて登校することは厳しいか考える。おおむね1時間以内を軸として田原本町の実情を踏まえて考えて行く方が望ましい。
②実態調査の結果について	児童数が増える、また、部団に占める低学年の割合が多い場合、歩く速度は遅くなる。なお、入学当初時の児童たちの体力等も考慮する必要がある。
③気候などの観点	昔と比べて夏の平均気温は劇的に上昇しているわけではないが、35℃を超える猛暑日の日数は明らかに増加している。特に6月中旬から夏休み前までの気温は30°を超えており、登校中の休憩時間を十分見込んだ徒歩での通学距離を設定する必要がある。 ※調査した黒田部団の保護者の情報では、4月当初や夏は冬より+10分程時間を要するとのことご意見あり。
④集合時間について	3小学校では8時から8時10分までに学校へ到着するよう指導しているためひとつの基準として考えていきたい。概ね1時間として逆算すると遅くとも7時10分には出発する必要がある。保護者の負担等も考慮しなければならない。
⑤下校時間について	登校時は1年生から6年生まで一緒に登校するが下校時は学年によって時間帯が異なることも考慮しなければならない。
⑥子ども見守隊について	子ども見守隊の活躍に改めて重要な存在であると認識させられた。
⑦その他	児童数が比較的多い阪手南自治会3班の保護者からの情報では約1.6kmで概ね30分弱ほど時間を要するとのこと。(信号で分断されることによる待ち時間や歩道橋利用での垂直移動あり) ※雨天時や4月当初については、+10分程度の時間を要するとのことご意見あり。

通学距離が長くなることから、スクールバス等による安心安全な通学手段を確立するとともに、教育の機会均等を図る観点から通学にかかる時間を概ね1時間以内となるように体制整備と調整を行い、3校統合時点(まほろば小学校)での徒歩及びスクールバスでの通学距離を以下のように整理

- 徒歩通学:集合場所から2.5km未満
- スクールバス通学:集合場所から2.5km以上

スクールバスでの通学となる部団

校区	自治会(集合場所)
東校区	笠形県営住宅・味間(東) 笠形・味間(西) 阿部田 蔵堂・伊与戸 平田・大木 為川北方・為川南方・金澤
北校区	八田 西代 法貴寺